

2022年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

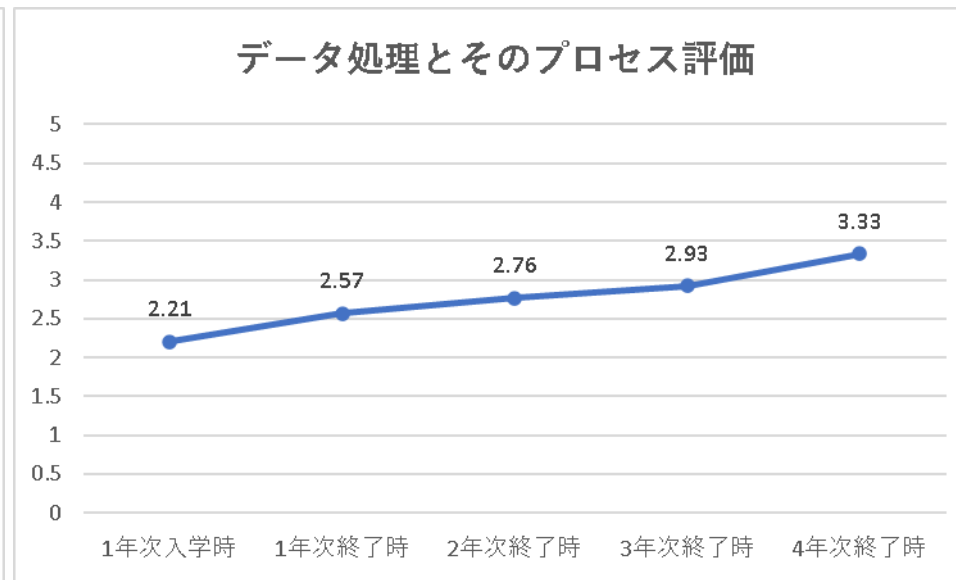
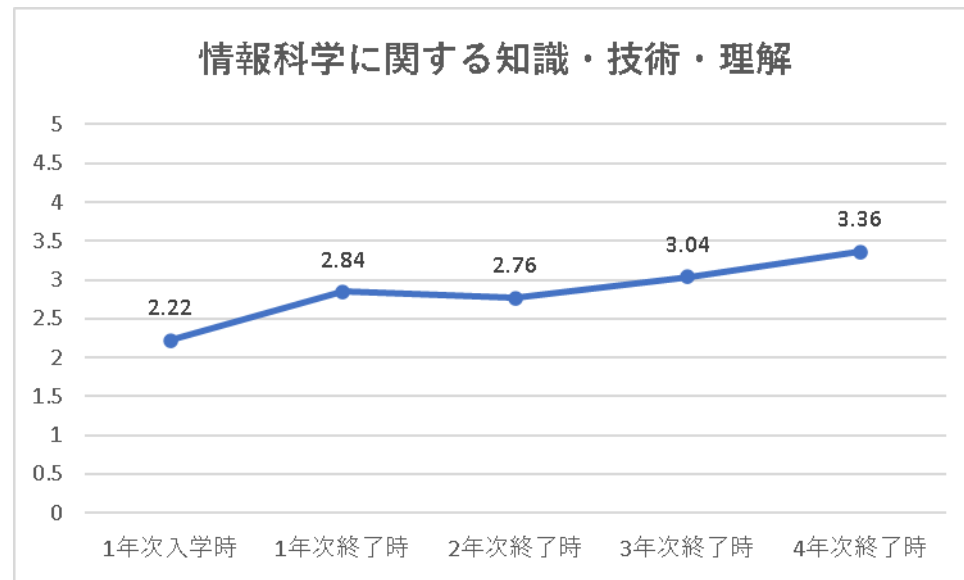
マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。各学科・研究科専攻の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

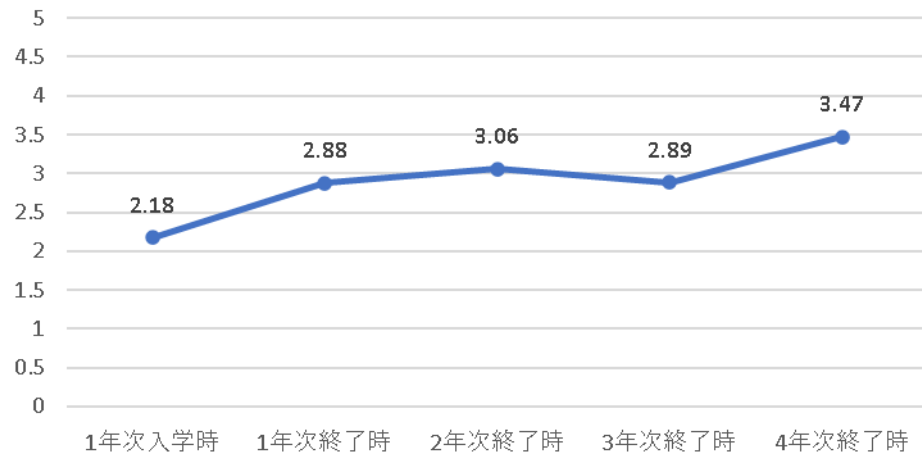
学科・研究科専攻名 情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では学生の学修成果の把握を目的に、ルーブリックに基づいて、「情報科学に関する知識・技術・理解」「データ処理とそのプロセス評価」「プレゼンテーション」「問題解決能力（行動）」「問題解決能力（創造的な思考）」の5項目を5段階評価で調査した。各項目に対して、5段階を1~5点に換算した際の各学年の平均値をまとめて図示したものが以下になる。なお、回答数（回答率）は1年生（入学時 68（62.9%）、終了時 58（53.7%）、2年生 34（32.9%）、3年生 27（25.9%）、4年生 36（33.3%）である。

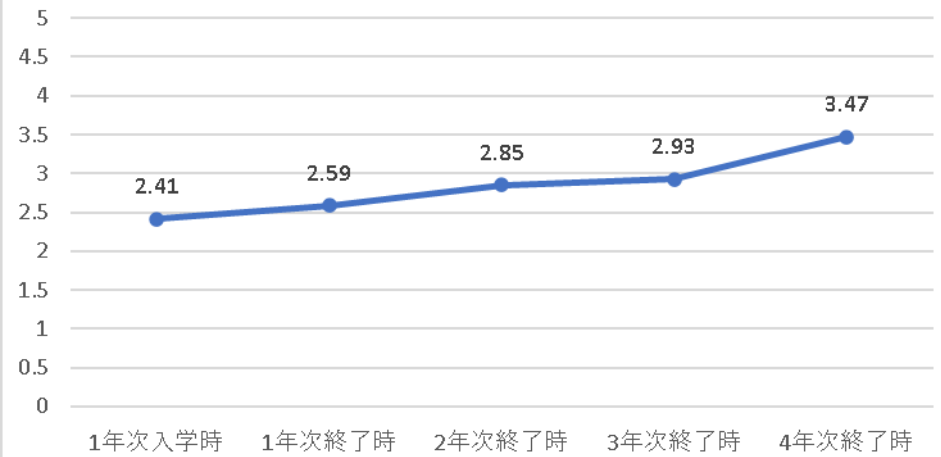
5項目全ての資質・能力において、学年が上がるごとに評価の平均値が概ね高くなる傾向がみとれる。したがって、学位授与の方針に照らした学修成果は適切に進展していると判断できる。また、すべての項目において、1年生終了時と4年生終了時で平均値の差が大きく、ゼミにおける研究活動ならびに卒業論文への取り組みが奏功していると推察される。



プレゼンテーション



問題解決能力（行動）



問題解決能力（創造的な思考）

